

のも結構あるんです。これをやっぱり相手が主導ですからね。おっしゃられたように、人材は大丈夫ですよ。建物もありますよ。中小企業もあるし職業の集積もありますよというのを長井独自のものがこの周辺でどうなんだということを箇条書きにできる、あるいはそれがパンフレット等になるようなものでやっぱり回っていかなくやいけない。関東自動車工業でもそれは山形県がやるのであればぜひ一つかましてくれと、長井もというふうに行かないといけないものだろうと思います。

人員は全体が減っておりますから、ふやすというのはなかなかいきませんが、適材適所で、今のやっぱりこれもだれでもいいというわけではなくて、それから得意不得意があるし、そういうところにうまいという人もいますね。そういった適材適所を考えながら人的配置をして、できればそれに強化するのであればそれにプラスをしていくと。若い次に進むような人もその後輩として連れて歩くというふうにしなればいけないなど。いずれそういう方が補佐になったり課長になったりすると、今度は別の用事が出てきて、そういう専門というのはなかなかできなくなるという、それも心配がありますからね。おっしゃるとおりだと思っています。

○大沼 久議長 3番、大道寺 信議員。

○3番 大道寺 信議員 時間ですので終わりたいと思いますが、最後に一つだけ。いわゆる団塊の世代の退職者というのが非常にふえてくるというのが前から言われているわけですが、こういう方々もやっぱり必要人材で地域提案型のところでそういう方々も手伝っていただくと、Uターンみたいな格好でいただくという、今その人たちの争奪戦というのが各自治体始まっている

のですね。その辺も含めてトータル的にやっぱり長井の雇用政策というのをどうするかということぜひこれからも検討いただきたいということを申し上げて質問を終わります。

ありがとうございました。

○大沼 久議長 ここで、昼食のため暫時休憩いたします。

再開は、午後1時といたします。

午後 0時01分 休憩

午後 1時00分 再開

### 我妻 昇議員の質問

○大沼 久議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

次に、順位8番、議席番号1番、我妻 昇議員。

(1番我妻 昇議員登壇) (拍手)

○1番 我妻 昇議員 豪雪の苦しみからようやく逃れることができ、いよいよ花の長井の開幕であります。

長井に訪れた観光客が満開の花々に心から満喫し、また来てみようとする満足して帰られることを願いながら質問をさせていただきます。

2期8年の公約のもと始まった目黒市政、改革前進の名のとおり、できることから着実に改革をし、一步一步前進してきた7年と2カ月であったと思います。なかなか進まない国の公務員制度改革、それをよそ目に、長井市では職員の定員適正化や給与制度改革、民間でできることは民間にと積極

的な民間委託を推し進めてきました。同時に、公債費負担適正化計画、土地開発公社の経営健全化計画などにより、市の借金を着実に減らし、将来につけを回さない財政再建に取り組まれてきました。

これら一連の改革の成果により、スリム化を果たした自治体として全国に誇れる長井市となることができたのではないのでしょうか。その中でも、ワタリ廃止は非常にインパクトが強く、問い合わせが殺到。現在に至っては市町村はもとより都道府県においてもこれに着手し、長井市はまさにお手本となっております。

功績を挙げればきりがありませんが、私が感じる目黒市政の一番の功績は、市民活力が向上し、市民運動が盛んになったことであろうと思っております。長井市が改革に一生懸命であればあるほど、自分も何かしなければという感情が市民の間に生まれてきます。ボランティア団体やNPO団体は性別、年齢の枠を超え急速にふえてきました。また、既存の組織団体であっても、まちづくりに対する取り組みが際立って盛んになってきています。特に青年や女性団体の元気のよさは不景気をも跳ね飛ばし、長井の未来は決して暗いものではなく、明るく輝くものであることを確信させてくれます。

今後、第四次基本構想でうたう協働のまちづくりがより具体的に前進するかどうかはこうした市民活力に行政がついていけるかどうかにかかっているとさえ言えるのではないのでしょうか。多少問題はあるものの、このたび上程されている各種事業の委託を成功させるのも、またことし目白押しである全国規模のイベントや、事業を成功させるのも、すべてこうした市民活力が欠かせないものであると思っております。

そこで私は今回その中でも観光に焦点を当て、後に述べます「まちなか観光元年」を市民の力と行政の力を終結させた形で成功させるべく質問をしてみたいと思いますので、的確なご答弁をお願いいたします。

まず最初に、松ヶ池公園多目的広場について質問をいたします。

これはつまりつつじ公園のグラウンドといますか、ほとんど現在は駐車場として使われているところを舗装し、しっかりした駐車場に整備するものだと思いますが、そもそもこの工事の目的は何か。規模や総工費、駐車可能台数など工事概要、また現在工事がストップしているようではありますが、その遅れの原因、完成予定などを建設課長にお聞きをいたします。

次に、この場所は駐車場である前に以前は市民の憩いの場として活用されてきたと思います。過去どのような利用があったのか。市民の反応はどうだったのか。また駐車場としてとらえた場合の状況はどうだったのか。その際、利用者からの苦情や警察からの注意などがなかったか。商工観光課長の答弁をいただきたいと思っております。

(3)は白つつじまつり期間中と書きましたが、それに限らず、この駐車場が完成した後、ここはどのような役割を果たしていくかであります。単に駐車場としての機能しか持たせないのかどうか。イベント会場として使用したり、スポーツ大会の開催なども考えているのかどうか。また、今後はだれが管理するのも商工観光課長にお答えをいただきたいと思っております。

有料化については、市長並びに商工観光課長に質問いたします。

まず、私はここ数年白つつじ公園に人が多く集まるようになったのではないかと感じております。真っ白に輝くつつじの花びら

が満面に咲き乱れた姿は、まるでそこだけ雪が積もったかのような錯覚を起こさせ、周りの新緑とのギャップで魅力は倍増し、人々の心を奪うのだと思います。

一方、ことしの黒獅子まつりは例年の開催日より1週間早い5月20日土曜日に開催されると聞きました。理由は1週間早めることによって、白つつじが最盛期に近い状態のときに黒獅子まつりを開催できるし、ゴールを白つつじ公園にすれば、相乗効果が生まれ、観光や経済に効果を及ぼすと考えたからだろうとっております。

黒獅子まつりは唯一無二の祭りです。観光協会はこの考えを踏まえ、全国どこにもない黒獅子まつりと、白つつじまつりに本腰を入れて取り組むようであります。

しかし、私がここで心配しているのは、この駐車場のことです。黒獅子まつりの次の日、つまり5月21日は白つつじマラソンもあり、大混雑が予想されます。ことしだけでなく来年もまたその次の年も同じように重なるのではないのでしょうか。去年は数件のトラブルがあったと記憶しています。

私はこうした条件を踏まえると、この駐車場を白つつじが咲いている期間だけでも有料にして、その管理運営を委託してはどうかと考えています。安全な管理体制を構築することができるし、若干の利益も得ることが可能になるのではないのでしょうか。ことし大きく変貌する黒獅子まつり、そして白つつじまつり、この駐車場、今期に間に合わないとしても、来年有料化できないものではないでしょうか。

協力金の形、形式もあると思います。メリットやデメリット、ほかの観光地の状況など、市長並びに商工観光課長にお伺いたします。

毎年下がる一方の委託料で苦しんでいる

観光協会が新企画で挑戦するこのお祭り、管理委託の可能性も含めてご答弁をお願いしたいと存じます。

次に、まちなか観光元年とも言える2006年の方針について伺います。

最初にこれまで小規模ではあるものの、まちなか観光はこれまでもあったのだらうと思います。文教の杜や、桑島記念館を巡るガイド付きの観光であったり、最近ですと、フットパスコースを歩いたりときまざまなまちなか観光がされてきたと思います。そうしたこれまでの取り組みと、その観光客の皆さんの反応はどうだったのか、伺いたいと存じます。

私はなぜ「まちなか観光元年」と申し上げたのか。それはことしの桜観光にこれまでだれも経験したことがないほどの大きな動きがあるからです。JR東日本やJTBなど、旅行代理店10社が「長井のまちなみと桜」、「フットパスコースと桜」といった観光新商品を売り出したと聞きました。果たしてその観光新商品とはどんなものなのか。まちなかを歩く観光客の見込みはどのくらいなのかを教えていただきたいと思っております。

(3)の受け入れ態勢であります。私は現状で観光客がまちを歩いた場合、おもてなし観光とはほど遠いお粗末な対応になるのではないかと懸念しております。ガイドの方を言っていることではありません。商店街や各事業所、地区の方々や子供たち、営業の車や貨物の車などなど、つまり市民全員の理解なしにこのまちなか観光やおもてなしは成功しないと思っております。

昨年、こうした現実を目の当たりにしました。ガイドがついてフットパスコースを見学に来た人たちがいました。市内中心部を歩いていた一行にある車が邪魔だと言わ

んばかりに結構なスピードであおってきました。その方たちはしばらくそこに立ちすくんでしまい、ガイド役の方が頭を下げて謝っていました。

まちなか観光元年とも言うべきことし、長井市ではどのような受け入れ態勢を考えているのか。市民への周知をどのように図り、どのように市民活力を生かした観光を成功させることができるのか。市長の考えをお聞きしたいと思います。

全国フットパスシンポジウム、ROBO-ONE全国大会などなど、多くのビッグイベントを抱えることしの長井市が恥をかくことのような取り組みを願うものであります。

最後に、4月22日から23日に行われます桜シンポジウムについてお伺いします。

市長の施政方針にもありました。花の長井の開幕にふさわしい全国規模の桜シンポジウムを開催するとありました。果たしてどのようなシンポジウムなのでしょう。

なぜ西置賜に桜の古木が多いのか。そのなぞに迫るといのは大変興味深い話であり、私もぜひ参加したいと思っております。しかしせっかく全国規模で人を集め、意義あるシンポジウムを開催するのなら、観光に生かさない手はないと思うのであります。前の質問で述べたまちなか観光に生かすべきだと思っております。しかも桜最盛期の時期です。学術研究の発表だけに終わってはもったいないと思えます。

そのためにも早い時期から商工観光課や観光協会との打ち合わせをし、協力要請しなければならないはずですが、今や準備不足は否めないと思えます。

桜回廊は既に1月の時点で話し合いが持たれ、広報やポスターの原案が出てくるのではないのでしょうか。一体これまでどのよ

うな準備をされてきたのか。商工観光課や観光協会との連携、協力体制は取れるのかどうか。文化生涯学習課長にお尋ねし、補足があれば商工観光課長にも答弁をお願いいたします。

このシンポジウムが縦割り行政の象徴にならないことを願いながら壇上からの質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

○大沼 久議長 目黒栄樹市長。

○目黒栄樹市長 我妻昇議員のご質問にお答えをしながら、私も意見を述べたいと思っています。

まず、整備の概要と現在の状況について詳しいところは建設課長であります。ちょっと概要だけ申し上げますと、松ヶ池の多目的広場、これは駐車場だけではありません。市民文化会館がイベントあるいはコンサート等、いろいろなイベントをする場合の駐車場にまず利用していたと思います。ただ、山土の地面が多いために、雨降ったり、降雪、雪の場合には水はけが非常に悪くて、ぬかるみや水たまりができて苦情があつて、大変ご不便もおかけをした。このため平成17年11月9日に、その前の日に渡辺えり子さんのイベントがありましたので、そこにあれは女性を中心に7割、8割女性だったのですが、満杯になりましたね、講演会でですね。そのときに使うものですから、次の日から工事の完成を目指したんですが、おとしですと12月いっぱいやれたという頭の中が、12月3日に雪が降っちゃって、このときから本格的に積もって、ほぼ1カ月もできないことになりまして、大変遅れて、これは読み違いもあり、ご迷惑をおかけした、ご心配をおかけしたことにお詫びを申し上げたいというふうに思います。しかし、これは3月30日まではぜひ

+

当初の整備を完成したいと思っております。

内容としては、駐車場が小型車で82台分、大型車7台分はこれはアスファルト塗装をしたいと。それからバスケットボールのハーフコートを設置したいと。それからあそこのトイレが非常にひどいというのもありましたから、トイレの水洗化もしたいと思っております。なお工事完成に合わせて、観光協会の皆さんから、それから市内の観光協会の役員もしていらっしゃる皆様が多いですね。照明灯6基ご寄付をいただくと。これも大変市民の皆さんから本当にご寄付をいただくわけでありまして、ありがたいことだというふうに思っております。この照明灯がしっかりと常時、あるいは必要なときにあそこを照らすことができれば、夜間の利用がぐっと広がりますし、それから夜間の犯罪上の防止とか、そういったものにも非常に寄与させていただけるのではないかと。そこまで予算を組んでおりませんでしたから、今後はやっぱりつつじまつりを初め、フットパスなど、長井市の観光を全国にアピールする上で臨時の駐車場にもできますし、集合場所にもできるし、それからやっぱりイベントにも使えるような、ただそこを使う場合には今度はその夜間とまっている皆さんなんていうのはちょっと出ていただかなきゃいけないし、いろいろなやっぱり管理が必要、大変だと思います。次の日はつつじマラソンだと。ご心配のとおりですから、そういった意味でこれはしっかりと管理をして有効に使わせていただきたいものだというふうに思っております。

なお、詳細につきましては、今の状況については建設課長に説明をさせていただきたいと思っております。

期間中の有料化ですね。議論は私は百出

だと思いますね。常時ということになるとやっぱり人件費とか何とかということにもなってくるし、我妻議員が言われるように、つつじのときだけということであれば、それはそれなりに取れると思うんですね。採算性だとか、何とか。普段はあそこはつつじばかりじゃなくて、まちなかの皆さんがやっぱり朝なんかは非常に散歩していただけるまちなかの公園としては全国でもやっぱり珍しいものだと思うんですね。公園というのは少し外れたところに大きくあるというのが多いんですが、長井のつつじ公園の場合には本当にまちなかであって、非常にいい公園だということですので、常時という場合は私はやっぱりかなり抵抗があるのではないかと思います。期間中等については十分に検討に値することではないかと。

観光協会の三役及び事務局の皆さんと私とあのときは課長が忙しかったから松木補佐だったかな、2月にお話をしたことがあります。そのときもちょっといろいろ議論百出しました。ですからここはやっぱりまずことしに間に合うかどうか。それから来年以降どうするかということで、管理を含めて有料化についてぜひ検討をしていきたいというふうに思っているところであります。

これまでのまちなか観光は、正直言って観光ボランティアガイドの皆さんに頼っていたというか、頼りきりみたいなものでした、正直言えば。それは市内の皆さんから観光ボランティアの方が非常に桜やつつじやあやめやいろいろな面でご協力をいただいきましたから、そして非常に評判のいい方もいらっしゃるって、その人指名のリピーターもいらっしゃるわけで、それは素晴らしいと私は思いますが、やっぱりこの皆

さんに本当に気持ちよく活動していただけるように、それから多少のジュースであるとか、そういうこともやっぱり考えていかなければ全くのボランティアでいいのかというのがあると思いますね。NPOまでなかなかいかないのかもしれませんが、こういう問題は。萩なんかにも行くと観光ボランティアガイドの方が物すごく層が厚くて、特に歴史になると77歳の女の人の、とうとうと言うのですよ。古い歴史なんていうのは私の方が若い人より詳しいのよと。こういう話をストーリー性があって非常に面白かったのを覚えていますから、やっぱり単なる若ければいいというものではないわけですし、これからやっぱりまちなか観光を本格的に考える上では、観光ボランティアさんの協力を得ながら、本当に具体的にどうやっぱり市民として盛り上げていくのか。やっぱり近隣の商店街の皆さんもそうです。市民の皆さんもそうです。さっきの物すごいスピードの車の話等も心ない人はいつでも何人かはいるかもしれませんが、そういうふうにならないようにしていかなければいけないのではないかと思います。

我妻議員が言われるように、JTBなど10社が新たに桜回り、長井に、置賜さくら回廊を中心にですが。例えば海外からも中国が非常にふえていらっしゃる。新潟空港で降りられて、ずっと仙台に行くときにずっとこの辺を通過して、やっぱりご案内して仙台からまた帰っていくとかというコースも組みながら、海外の皆さんも案内するような一つの商品とか、いろいろな面で置賜さくら回廊を中心に当たってきましたから、注目を集めていただきましたし、フットパス等の看板等もこれからもっともっと設置できるわけだし、やっぱり「長崎

ぶらぶら物語り」の本のヒットとか、映画のヒットから始まって、歩く観光というのでしょうか。歩いて楽しんでいただく観光というのは全国的に非常に素晴らしくなったわけで、これはテレビのドラマかもしれないけれども、「風のハルカ」で食品祭がスタンプを押して、何もそこに一箇所に集めるんじゃないで、その家々とか、その商店商店で300円からそういうので全部食べ歩きできるような、そういう食品祭が、大分なんていうのはやっぱりあそこは一村一品ですからね。当たっているわけですよ。しかもあのテレビの最後の番組に必ず市町村の一村一品が出てくるわけでしょう。あれ食ってみたいというのがあると思いますよ。ああいうのを本当に時間かけてみんなで盛り上げてきたわけですから、長井市もまちなか観光を今度は本格的に取り組むために、これは観光協会の方と連携しながら、やっぱり町内会の皆さんもそうですしね、若い青年団体の皆さんや女性の皆さんや、いろいろな皆さんのご協力を得て盛り上げていかなきゃいけないと。

特につつじ、それから黒獅子、黒獅子もやっぱりかなり冒険だと思います、あれは。冒険だと思いますけれども、今までを変えるわけですから。出発をどこにするか2年に一遍別のところから出発するとか、コースをどうするとか、いろいろあると思いますが、あそこはやっぱりせっかく最終ゴールにさせていただければ、ちょうど白つつじの一番咲いているときに当たってくださる可能性があるわけですから、そういった意味でしっかりとやっていかなければいけないというふうに思っているところであります。

私の話は非常に概括的ですので、残余は商工観光課長、建設課長、文化生涯学習課

+

長が。

桜シンポジウムもぎりぎりまでなかなか講師とか何とかということが決まらなくて、それから予算の関係なんかもあって、ちょっと今のところ今までのようなスタイルですね、せっかく来ていただくのにシンポジウムをして、それからせいぜい桜をずっと回っていただくぐらいしか考えていませんが、フットパスなんかはかなり先行していますから、コースをいっぱいつくってかなり大規模にカヌーの方も行くんだと、あるいはダムのでっぺんまで行って散策路行って、そして奥の院まで行くコースもつくるとか、さくらんぼ狩りのコースまでも入れたんですが、そういったやっぱり準備期間があったわけですが、桜シンポジウムはちょっとそういう意味で準備期間も足りなかったし、予算等もあれですが、これはやっぱりフットパスのシンポジウム、全国シンポジウムと比べられますから、やっぱり知恵を出して今からでもできることは何か、縦割りのあれにならないようにひとつ全市で迎えるようにしていきたいというふうに思っております。

以上です。

○大沼 久議長 那須宗一商工観光課長。

○那須宗一商工観光課長 我妻議員のご質問にお答えをいたします。

まず最初に、松ヶ池公園の多目的広場の過去の利用状況でございますが、これまでは保育園の運動会や体験活動の場としてのグラウンド利用が大体1割でございまして、あとほとんどが市民文化会館や多数の利用者団体などの臨時駐車場として使ってまいりました。平成16年度の私どもの方に利用申請された方、82件ございまして、平成17年度についてはこれまで67件ございます。

白つつじまつり期間中の利用状況でござ

いますが、土日や花の満開時は議員もご承知のとおりほぼ満車の状態になっているところでございます。利用者からの苦情などでございますが、ただいま市長からもございましたとおり、雨天の場合のグラウンドがどろどろといった状態になって汚れるということや、晴天が続きますと地ぼこりがたって周り露店の皆さんに大変迷惑をかけているのかなということがございます。

続いて白つつじまつり期間中における役割でございますが、このお祭り期間については市内外からたくさん多くの方が訪れますので、長井の最上川フットパスの10ルートについてPRする絶好の機会だなというふうに考えております。この広場の中にフットパスの案内看板も設置しておりますので、駐車した観光客の皆様方に何とかまちなかへも誘導して歩いていただけるようにパンフレットなどによるPRを考えてまいりたいというふうに思っております。

この広場の管理でございますが、貸し出しなどの部分につきましては私の方の商工観光課で行っておりまして、ハード面の整備は建設課で行っているところでございます。

期間中の有料化は可能かというふうなご質問がございました。市長からもございましたが、このたびの整備につきましては多額の予算を要しております。確かに受益者負担の原則から利用者の方々より幾らかの負担をいただくというのが一つの考え方だというふうに思いますけれども、料金徴収をするためにはある程度の整備投資や人件費の経費なども相当考えなければならないというふうに思います。そういった面から費用対効果というところも検討しなければならないのではないかとというふうな考え方を持っております。この分については先日

行われました観光協会の三役会の席でもそういった考え方が出されたところがございます。

まずは市民の皆さんや観光客の皆さんが気持ちよくお祭りや公園を楽しんでいただく環境をどうつくっていくかというふうなことを考えてまいりたいと思いますので、議員のご意見の内容も十分含めまして検討をしてまいりたいというふうに思っているところがございます。

なお、置賜地域の花公園の部分だけでいいますと、駐車料金をいただいているところはないというふうに聞いているところがございます。

あと多目的広場の管理委託の可能性という部分でございますが、この部分については公園全体の管理のあり方という部分について指定管理者制度の導入なども含めて総合的に検討していかなければならない問題だというふうに考えております。

これまでのまちなか観光の取り組みはというふうなことでございますが、これまでの実績といたしまして、平成15年度、まちなか散策街道事業でのまちなかガイドでは、75件で212名の方。平成16年度からはボランティアガイド黒獅子の里案内人によりまして10件114名。17年度は10件167名のお客様をまちなかへご案内しているところがございます。

ことしのまちなか観光と観光客の見込みはというご質問でございますが、旅行エージェント4社から商工観光課へボランティアガイドの依頼をいただいております。そのほかにもバスツアーの問い合わせなどいただいております。観光の中でも歩く、体験する、学ぶといったことが大変注目されております。フットパスルートを歩く、もてなしの心での体験、ガイドと一緒に学

ぶといったことをキーワードにまちなか観光を考えていきたいと思っております。この部分につきましては関係の団体の皆様のご協力が欠かせない部分でございますので、改めて話し合いなど持たせていただきたいというふうに思っております。

長井市内にはまだまだ隠れた観光資源があるのではないかなというふうに思っております。おいでいただいた方にもう一度来てみたいと思っただけのようにしてまいりたいというふうに思っております。

ご質問にございましたJRの企画でございますが、最上川河川緑地公園からタスマでのフットパスルートを歩きながら最上川千本楼を見るというふうなコースでございます。4月15日から30日まで実施の予定でございます。JTBの企画については、荒戸駅から長井駅までフラワー長井線に乗りまして、長井駅から今度は市役所の前を歩きまして最上川フットパスコースに入りまして、そこを歩いてタスマでのルートを歩きながら千本桜を見るというふうなコースでございます。このコースについては4月14日から5月1日まで実施の予定でございます。この二つの企画で私どもが考えておりますのは、およそ500人か600人ぐらいの方がご参加いただけるのかなというふうに今のところ考えているところがございます。JTBの商品については現時点でまず3日分の実施は確実になされるというふうなことを聞いているところでございます。

あと受け入れ態勢は万全かというご質問でございます。まちなかに観光客を誘導いたしまして、商店街やまちに活気をもたらす有望な観光資源の存在は長井にとって大変重要な観光資源でございますが、これを本当の意味で生かすという分ではいいですと、施設の整備、ハードの部分だけでなく

+



て、やっぱりおもてなしの心というのが大変重要になってきますし、この部分でいえば市民の皆様方のご協力が不可欠というふうに思っております。現段階ではその部分の取り組みについて系統だったものにまだなっておりません。これからも関係団体の皆様との話し合いなどを含めて協力いただきながら案内人やもてなしの仕掛けなどをつくってまいりたいというふうに思っているところでございます。

最後に桜シンポジウムの件でございますが、私ども商工観光課といたしましては、桜シンポジウムにおいでになる皆様方からの意見を参考にして、今後どのような形で観光に結びつけられるかというようなことを検討して観光振興に生かしていきたいというふうに思っております。あわせまして、桜の問い合わせなどもこれから非常に多くなりますので、桜シンポジウムの開催についても商工観光課としてPRをしてまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○大沼 久議長 浅野敏明建設課長。

○浅野敏明建設課長 それでは整備工事概要の現在の状況についてお答え申し上げたいと思います。

先ほど市長からもお話がありましたのですが、松ヶ池公園多目的広場整備工事の内容としましては、駐車場スペースとして舗装工3,650平米でございます。この舗装につきましては、市民の皆さん、そしてよそから来られたお客様が気持ちよく利用できるように、通常の黒舗装でなく、骨材の色が表面にあらわれる脱色アスファルト舗装というのを採用しております。駐車場のスペースでございますが、すべて区画線を引くというようなことでなく、角のみの設置と

なります。先ほどとだぶりますが、小型車82台、大型車7台分となります。また従来の北側の駐車場でございますが、新たに2カ所出入り口を整備したこともありまして、新たに区画線を引き直します。60台分を確保する予定でございます。その他排水溝160メートル、それからバスケットボールーフコート1面の設置、それにトイレの水洗化工事であります。あわせた工事請負費でございますが、2,572万4,000円というようなこととなります。工期については当初年内中完成の予定で施工計画を立てておりましたが、12月の思わぬ豪雪のためアスファルト舗装ということもありまして、無理をしないで3月末までの工期にしたところでございます。ご理解をお願いしたいと思います。

現在の状況であります。県道からの出入り口の整備を施工中でございます。多目的広場につきましては、昨年中に路盤工まで完成しておりましたので、除雪を行いまして、3月30日までには舗装、そして区画線を設置する予定で進めたいと思います。

以上です。

○大沼 久議長 梅津敏昭文化生涯学習課長。

○梅津敏昭文化生涯学習課長 我妻議員のご質問にお答えしたいというふうに思います。

まず初めに、花の長井の開幕にふさわしい全国規模の桜シンポジウムということでございますが、桜シンポジウムは昨年7月14日に草岡の大明神ザクラが国の天然記念物に指定されたのを機会に、置賜に桜の古木が多いのはどうしてなのか。桜と地域とのかかわりについて学術的にはどうなのか。まちづくりのかかわりはどうなのかと。いろいろな方面からご意見を発表していただいて話し合いをしていただくということ

で計画をさせていただいたところでありま  
す。明治大学の小川和佑先生に「桜と日本  
人」ということで基調講演をしていただき、  
「桜と塚」、「植物から見た桜」、「塚と  
葬送」、「古代の花見」、「桜とまちづく  
り」というテーマでいろいろな立場から発  
表をしていただきまして、「日本人と桜の  
おつき合い」というテーマで討論をしてい  
ただくものであります。桜をテーマに植物、  
文学、歴史、文化の分野からのシンポジウ  
ムは余り例がないというようなことで、花  
の長井の里で桜についてのシンポジウムを  
開催できるということは本当に素晴らしい  
ことだというふうに思っております。

花の長井の開幕にふさわしい桜シンポジ  
ウムということですが、シンポジウムとい  
うのはそんなに華やかなものではありません  
けれども、精一杯準備をしまして、そし  
て真心を持ったおもてなしということをさ  
せていただきまして、参加された方々に喜  
んでいただけたらいいのではないかと  
いうように考えております。

それから学術研究の発表会に終わるべき  
ではないということですが、シン  
ポジウム開催に当たりましては、多くの  
方々においでいただきたいというようなこ  
とで、PRについては置賜桜回廊のチラシ  
に掲載をしていただいたり、長井市のホー  
ムページの活用、それから市広報誌、マス  
コミの活用、そしてダイレクトメールでは  
県内の教育委員会、そして観光協会、それ  
から全国組織の日本桜の会、それから日本  
花の会、そして各大学などにポスターとチ  
ラシを送って、参加者は大体400名規模ぐ  
らいで行いたいというように考えておるこ  
とであります。そしてまたせっかく市外か  
ら長井においでいただくというようなこ  
とで、シンポジウムが終わってから、この

シンポジウム2日間にわたるわけでありま  
すけれども、翌日は午前中で終わりとい  
うような日程になっておりますので、せ  
っかくおいでになったときに国の指定さ  
れた久保ザクラ、それから草岡の大明神  
ザクラ、これは当然見ていただきたいと思  
いますし、さらには4月の15日から5月  
28日まで古代の丘の資料館において「  
桜と塚」というようなことで企画展を開  
催しておりますので、それもぜひ見てい  
ただきたいというように思います。そし  
て先ほどいろいろとお話ありがとうございました。市長からもありま  
したけれども、みずはの小道と今ありま  
すけれども、みずはの小道などを一応散  
策していただいたり、それからまちなか  
の桜をゆっくり眺めていただくと。そし  
てさらには昔の商店街の面影が残って  
いるあら町商店街などもぜひ散策をし  
ていただきたいと思っておりますし、文  
教の杜などにもぜひ足を運んでいただ  
きたいと。そして長井を満喫していただ  
いて次回はぜひ観光にもおいでいただ  
きたいというように思っておりますので、  
ぜひ観光面でのPRもしていきたいとい  
うように考えております。

それから次に企画、それから準備がちょ  
っと遅かったのではないかと  
いうようなお話ですが、先ほど申し上げ  
ましたように、草岡の大明神ザクラが  
国の天然記念物に指定されたこと  
で、長井市にはこれで久保ザクラと  
合わせて2本の国指定の天然記念物  
の桜があることとなります。これに  
ついては余り例のないという  
ようなことで、できるだけ早い時期  
に桜に関係した事業を何か展開  
したいというように考えてお  
ったところです。それで18年度  
の予算要求でシンポジウムの  
企画を承認いただきまして、  
ちょっと遅くなりましたが、1月  
を過ぎてから一応準備に入  
ったということで、

+

先ほど市長からもございましたけれども、予算の問題、それから講師との交渉というようなことをこれまでやってきております。

そして、このシンポジウムについては、できるだけ桜の開花期間にやりたいというように思っておりまして、本当に短い準備期間でありますけれども、一生懸命成功させたいというようなことで今準備を進めているというようなところであります。

それから商工観光課との協力体制でありますけれども、先ほど商工観光課長からありました、商工観光課の方でもこの時期については非常に忙しい時期になってくるというようなことで、観光ボランティアガイドの方もとにかく人手が足りないというような状況があるということで、お互いに人的な協力が非常に難しいというようなことがあります。そのようなことから、桜回廊のチラシにシンポジウムの開催の記事を載せていただいたり、それからこれから草岡の大明神ザクラのところ、それから久保ザクラの近くにシンポジウム開催の看板を建てる予定です。そのような看板なんかも一応ご案内いただきながら、ぜひシンポジウムに参加されるようにPRをお願いしていきたいなというように思っているところです。

それから縦割りの問題でございますが、このたびの事業は一応文化生涯学習課の文化係が中心になって現在進めております。ただ文化係だけではこれはできる問題ではありませんので、教育委員会、そして関係課、さらには関係団体にも協力をお願いしながらできるだけ万全の体制を整えて進めていきたいというように考えているところであります。

○大沼 久議長 1番、我妻 昇議員。

○1番 我妻 昇議員 ありがとうございます

した。

まず駐車場のことなんですけれども、いろいろ苦情というか、使いづらかった、雨の日なんかも使いづらいし、乾いてからもわだちができていたりして、非常に使いづらいというような苦情もあったということ。あと幼稚園の運動会なんかでは少し使っていたが駐車場の使用がほとんどで、それで今回これで整備したということなのでしようけれども、駐車場にしないしてほしいというような話はなかったですか。例えばそういう運動会とか、ソフトボール大会だとか、いろいろなことに使いたいんだと。舗装されると困るというような話はなかったですか。どちらに聞けばいいのかな。建設課長ですか。

○大沼 久議長 浅野敏明建設課長。

○浅野敏明建設課長 お答えいたします。

直接はなかったんですが、土のグラウンドとしては南側にもありますので、もし運動会等で必要であればそちらの方を使っただけいいというように思っていました。ただ片田地区か、神明町地区かちょっと忘れちゃったんですが、「さいとう焼きで今まで使っていたんですが」というようなお話があったんですが、それについても「場所については検討してください」と直接はないんですが、そういうようなお話をしたことがございます。

以上です。

○大沼 久議長 1番、我妻 昇議員。

○1番 我妻 昇議員 商工観光課長もそれでいいですか。なかったですか、そういう要望ですとか。なかったらいいですけども。

○大沼 久議長 那須宗一商工観光課長。

○那須宗一商工観光課長 お答えいたします。

直接私どものところにはございませんで

したが、これまでの利用の形態などからそういった部分についての配慮をどうしたらいいのかなというふうな内部での議論はございました。

○大沼 久議長 1番、我妻 昇議員。

○1番 我妻 昇議員 まず駐車場にすることはまずおおむね市民は理解していらっしゃるんだと思います。一部お祭りですとか、近所の方が困るかもしれないけれども、まず舗装には皆さんの理解があるんだろうと思います。

バスケットの-halfコートなんかもつくるといことですが、駐車場以外にもそういう利用をすれば、バスケットの-halfコート-halfコートというのですか、そういうスポーツする若い人たちとかいらっしゃるわけで、駐車場以外の今後の利用ですとか、あとお祭りなりそういう観光シーズンにそういうふうな利用をしている人と駐車を利用している人たちの場所の取り合いというのでしょうか。そういったトラブルとかも考えられなくもないと思うんですが、そこら辺は商工観光課長いかがですか。

○大沼 久議長 那須宗一商工観光課長。

○那須宗一商工観光課長 お答え申し上げます。

議員ご指摘のとおりバスケットのリンクなども設置いただくわけですので、そういった可能性はないとは言い切れない部分だというふうに思います。ただつつじまつりの期間中についてはあの部分に露店の設置もございます。そのほか駐車場としての利用というふうになるわけでございますので、積極的にPRをしながらご理解をいただくようにしてまいりたいというふうに思っております。

○大沼 久議長 1番、我妻 昇議員。

○1番 我妻 昇議員 あと今年の駐車場の

トラブルは、私は警察から注意を受けなかったかというふうに壇上で言ったと思うんですが、例えばとめ方で出られなくなったり、それで警察に言った人がいたのか、あとは路上駐車してしまって警察が。よくわからないんですが、そういうことを記憶しているのです。それはなかったですか。つつじまつり期間中だと思うんですが、お願いします。

○大沼 久議長 那須宗一商工観光課長。

○那須宗一商工観光課長 私のところに報告は来なかったわけですが、もし我妻議員のお耳に入っているとすれば整理をされている作業員なり整理員の方の間ではあったのかなというふうに思います。そういった意味で今回の整備によりまして、きちんとした区画線なども整備いたしますし、あと出入り口についても今回は交通に配慮した形でタス側からではなく山形新聞社さんの方からというふうにしていくというふうな考え方を持っておりますので、これまでよりはそういったトラブルといひますか、苦情なども少なくなるのかなというふうに考えているところでございます。

○大沼 久議長 1番、我妻 昇議員。

○1番 我妻 昇議員 私は、聞いた話などで確かかどうかというのがわからないんですが、何か注意を受けたというふうに聞きました。駐車場の案内が不備じゃないかというようなことを言われたらしいんです。あと先ほどの市民の利用で、ある程度の困りごとというのですか、トラブルもないわけではないんだと。今後観光客と市民がバスケコートなんかを利用したときのトラブルも可能性がないことはないんだということは、やっぱり管理しなくてはいけないと私は思うんです。ほかの観光地で、置賜には花観光としては駐車場の料金取って

+

いるところはないとおっしゃいましたけれども、白鷹の釜の越なんかでも再三にわたり検討はしていらっしゃると思いますよ。1万4,000台来るんですね、釜の越には。1万4,000台から例えば100円取れば140万円になるんだと。それである程度の整備もできるし、管理もできるんだというような話もしていらっしゃると思います。例えば福島 of 三春の滝桜なんかは500円だったかな、500円だったかの駐車料金を取って随分歩かせられるわけですが、あれは2,000万円の駐車料金が入るということでした。それによっていろいろな整備、管理、そういった例えばトラブルがなくなるようにということを工夫していらっしゃるだろうし、あとは売り上げの中を一部を使って新たな観光事業に取り組むだとか、そういうこともしていらっしゃるのではないかなと思います。私は期間中だけでもここを有料化というのでしょうか。例えば観光協力金ですとか、環境協力金ですとか、いろいろな協力金という形もあり得るのではないかなと私は思うんです。先ほど商工観光課長が公園全体としては委託も将来あるのではないかなということですが、公園全体ということは駐車場も含めてですよ。そうしたらもしも委託を受けた方が料金取りたいといった場合はそれは可能なんですか。

○大沼 久議長 那須宗一商工観光課長。

○那須宗一商工観光課長 料金の徴収までについてはまだ検討しているわけではございませんけれども、指定管理者制度の導入に当たってどのように考えていくかということについてはまだ検討しておりませんので、ちょっとお答えはできかねます。私どもの方といたしましては、料金徴収を料金をいただくという部分まで踏み込むとすれば、どういった課題があるかという部分をきち

んと整理をしていかないと難しいのではないかなということで、先ほど市長からもございましたとおり、18年度はその部分について検討していこうというふうに考えているというふうなことでございます。

○大沼 久議長 1番、我妻 昇議員。

○1番 我妻 昇議員 市長も検討してくれるという答弁をいただきましたし、各課長の方からも検討するんだと。ちょっと今年度はもちろん難しいわけですがけれども、今後いろいろな面からメリット、デメリットを考えたり、採算が取れるのか。また料金取るとすればさらに投資しなくてはならないというようなこともあるだろうしということですので、ぜひそういった答弁ですので、しっかりと検討していただきたいと思えます。去年の9月議会でも申し上げましたが、検討するといって何らどうなったのかわからないこともありましたので、ぜひその結果、状況などもお知らせいただければ幸いです。

まちなか観光についてですが、先ほどの例を出しましたけれども、非常に危ない光景だったのですが、車の若い人だったでしょうかね。車を運転している人にとっては、歩道もないのに2列にも3列にもなっただけというのはいわい指差しながら歩いているというのは、車の人にとってはやっぱり迷惑だと感じたんでしょう。そこを猛スピードであおったわけですが、これは今のうちから協力体制取らないと、これは同じことが起こります。500人から600人の観光客がまちなかに来るだろうという答弁でしたが、この方が気分よく帰って、ここはいいまちだったということを宣伝してくれるわけですから、商店街の人はもちろん声をかけましょうということですか、あと子供たちにも笑顔で子供たちがあいさつしてくれたとい

うようなことは都会の人にとっては非常に新鮮でいい思い出として残るわけですから、市をあげて広報活動をしていただきたいなと思います。何かまちなかを歩いているのに商店街の人がだれも出てこない、閑散としていて、しかも目も合ったのにあいさつもしないというのと、「よく来ておごやつたな」とか、「また来てごえな」というような声をかけられたというのと雲泥の差があるわけですから、そこを今のうちからしないと、4月のことですから、もう遅いのではないかなと思うくらいで、その市の市長の答弁をいただきたいのと、あと桜シンポジウムについては随分遅くなったので、これからどうするかということですが、とにかく縦割り行政にならないように、ほかの団体とよく協議をしていただきたいと思います。市長の答弁をお願いします。

○大沼 久議長 目黒栄樹市長。

○目黒栄樹市長 全くおっしゃる真意はわかります。それでせっかくこの桜シンポジウムもまちなかを歩いてもらいたいと。フットパスのルートも歩いてもらいたいと。それからあれもそうですね、全国のもう一つのシンポジウムもそういうことですから、ただ車進入禁止というわけにはなかなかこれもいかないわけで、これは警察の許可が必要ですし、それはそう簡単にできる話でもありませんし、時間帯すべてやっぱり黒獅子みたいにある時間帯だっただけかなり大変なわけですからね。そういったところで周知徹底して、それから商店街の皆さんにもひとつご協力を願って、女性団体の皆さんにも協力を願って、その皆さんと連携を取るような1回集まりをしてと、そういう準備をしてというようなところをまずことはしっかりやらなきゃいかんのではないかなというふうに思います。

ぜひご提案の趣旨はわかりますので、それもこれも一つ一つ改善をしていくということですから、まさに市民の皆さんのいろいろな皆さんのご協力を得るようにこちらもお願いをしながら一緒にやりましょうと。そしていい気持ちでまた帰ってきてまた来ていただければ商売にもつながりますし、地域振興にもつながるし、まちづくりになるんですからということをおねばり強くお話をしてお協力をお願いできるようにしていきたいと思います。

### 高橋孝夫議員の質問

○大沼 久議長 次に、順位9番、議席番号11番、高橋孝夫議員。

(11番高橋孝夫議員登壇) (拍手)

○11番 高橋孝夫議員 ご苦労さまでございます。お疲れだと思いますが、しばらくおつき合いをいただきたいと思います。

私は、市民生活の向上を願いながら一般質問を行います。

通告をしております3点について順次質問申し上げますので、丁寧で明快な答弁をいただきますようお願いをしておきたいと思います。

質問の第1は、まちづくり基本条例についてです。

本定例会に長井市まちづくり基本条例の制定が提案をされています。平成18年度施政方針では、「市民の皆さんがそれぞれ能力を発揮し、市政に参画していただける仕組みを一層つくっていききたいと思います。今議会に上程しておりますまちづくり基本条例では、まちづくりの基本理念や市民と行政の役割などを示し、市民との協働につ